

# 中広中学校だより

平成24年8月31日(金) NO. 7

校 訓 . . . 清 純 ・ 平 和 ・ 希 望

学校教育目標 . . . 「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

「地域に学び、地域で育つ ～あいさつ・掃除・感謝の心～」 平成24年度心の元気を育てる地域支援事業

広島市立中広中学校

## 学校が再開しました

3年生 . . . 122日

本当に暑かった(まだ暑いですが . . .) 夏が終わろうとしています。来週の9月7日(金)は暦(こよみ)の上では、「白露」(秋が本格的になり、野の草には露が宿ようになる頃)です。「歳月は人を待たず」という言葉がありますが、時間だけは確実に過ぎ去っていきます。



特に、3年生にとっては、中広中学校へ実質登校する日は、残すところ122日となりました。進路へ向けてのいよいよ本格的な季節へと向かって行くこととなります。

天気予報では、まだ暑さが続く様子です。熱中症にならないように夏場なみに注意を払いつつ、安全・安心・健康な学校生活を送りましょう。

## 「いじめ」を無くすために . . . できることは？

昨今、新聞テレビの報道でいじめ問題が大きくクローズアップされてきています。中広中学校では安心して安全に授業が集中した雰囲気の中で受けられるよう、先の8月27日(月)の全校向けの朝の放送朝会で右面に載せております内容の話をし、30日には全校でいじめに関するアンケート調査を実施いたしました。各ご家庭におきましてもいじめは絶対に許せない行為であることを話題としていただき、是非、主旨をご理解いただきたいと思います。よろしくごお願い申し上げます。

## リ・スタート第1号が出ました

昨日、8月30日に早速1日10時間勉強の達成者が1年生に2名ありました。保護者の方のメモによると、勉強開始から明るくなる日の未明にかけて達成した10時間勉強でした。暑い中にもかかわらず、それ以上に熱いハートで頑張ったんだなという印象を持ちました。早速認定証を発行しました。1日10時間勉強の認定は通年で実施します。達成できた時点で、生徒手帳や生活ノート等に保護者の確認のメモと印(サインでもOK)をもらって担任の先生か、直接校長室へ持参してください。

## お知らせ

☆ 新しく来ていただきます

9月より、中広中学校に2名の新しい先生をお迎えします。一人は、英語科の指導助手をしていただくジェニファー・ドーン先生(女性)です。カナダ育ちで過去に日本でも英語の指導経験を持っておられます。日本語もお上手です。本校には毎週、木曜日においでいただきます。

もうお一人は、学校図書館担当事務としておいでいただく、広田聖子先生です。主に本校の図書館運営の支援をしていただく予定です。

裏面に続く ⇒

## いじめのない学校づくりのために

今年の夏は例年になく、毎日が34～35℃という最高気温が続く毎日でしたこの間、皆さんは順調に過ごせたでしょうか。今日は、学期の再スタートに当たり、2つの話をします。

一つは「皆さんへの感謝」です。先に7月の夏休み直前の全校集会で、「安心・安全・健康」な夏休みにして欲しい。8月末のスタートには全員が元気な顔で揃って欲しいと話しました。この夏休みの間、全国では、いろいろな事故が起き、未来ある子どもたちが尊い命をなくすという残念なニュースが新聞テレビで報道されました。そうした意味では、全員が安全・健康に夏休みを過ごせたということに対し、改めて感謝したいと思います。また、この間の部活動の活躍は、先のロンドンオリンピックの日本選手の活躍に似て、文字通り、広島県大会・中国大会レベル、さらには全国大会レベルの素晴らしい活躍がありました。その詳しい結果については、今後、皆さんに紹介したいと思います。これからも安全・安心・健康を学校生活の基盤に置いて、学校生活を送って下さい。

二点目の話は、「いじめ」についてです。既に、この夏休みの間に、新聞・テレビをはじめ、いたるところで話題となり、今現在も報道が続いています。少なくとも中広中学校は全学校・全学年・全学級において、一人一人が「いじめのない学校生活」が送れるようにしたいと思っています。学校に行くと、嫌なことを言われたり、されたり、または強要されたりという不安な気持ちの落ち着かない中で、学習・勉強がはかどるはずはありません。そのためにも、次の6点について改めて確認して欲しいと思います。

一点目は、「いじめは人間として絶対に許されない行為である」という認識を全員が持つて欲しいということです。このことは、大前提です。

二点目は、「中広中学校は、また中広中学校の先生は、仮にいじめられている人がいるとすれば、その生徒を絶対に守る」ということを知っておいて欲しいと思います。

三点目は、「仮にいじめられている人がいるとすれば、決して一人で抱え込むようなことはしないで、先生や保護者・友達等、気持ちの話せる周囲の人に相談して欲しい」ということです。

四点目は、「仮に、今現在いじめているという人がいるとすれば、即刻そのいじめをやめて欲しい」ということです。その理由は、「いじめは人間として絶対に許されない行為である」からです。

五点目は、「いじめを見たり、聴いたりしたら、自分にできる範囲で、それを止めるような言葉をかけたり、行動に移して欲しい」ということです。「行動に移す」とは、必ずしも、その場で直接言葉をかけたり、直接行動にでるということだけではありません。先生や保護者・友達等の周囲の話せる人に協力を求めることも、いじめを止める間接的な行動ともいえます。

六点目は、「中広中学校全体を、先生たちと一緒に、いじめは絶対に許さない・させない・ほっておかないという学校に、『正しいことが正しいといえる、当たり前なのが、当たり前に通る学級・学年・学校』にして欲しい」ということです。

中広中学校をこれからも、安心・安全・健康で通える、学習できる、活動・活躍できる学校にしたいと思っています。皆さんの協力をお願いするとともに、これからまだ暑い日が続きます。健康管理にも気を配って毎日を過ごして下さい。